



Title	大阪大学理学研究科の研究奨励A O入試
Author(s)	滝澤, 温彦
Citation	高大連携物理教育セミナー報告書. 2016, 27
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/54457
rights	
Note	

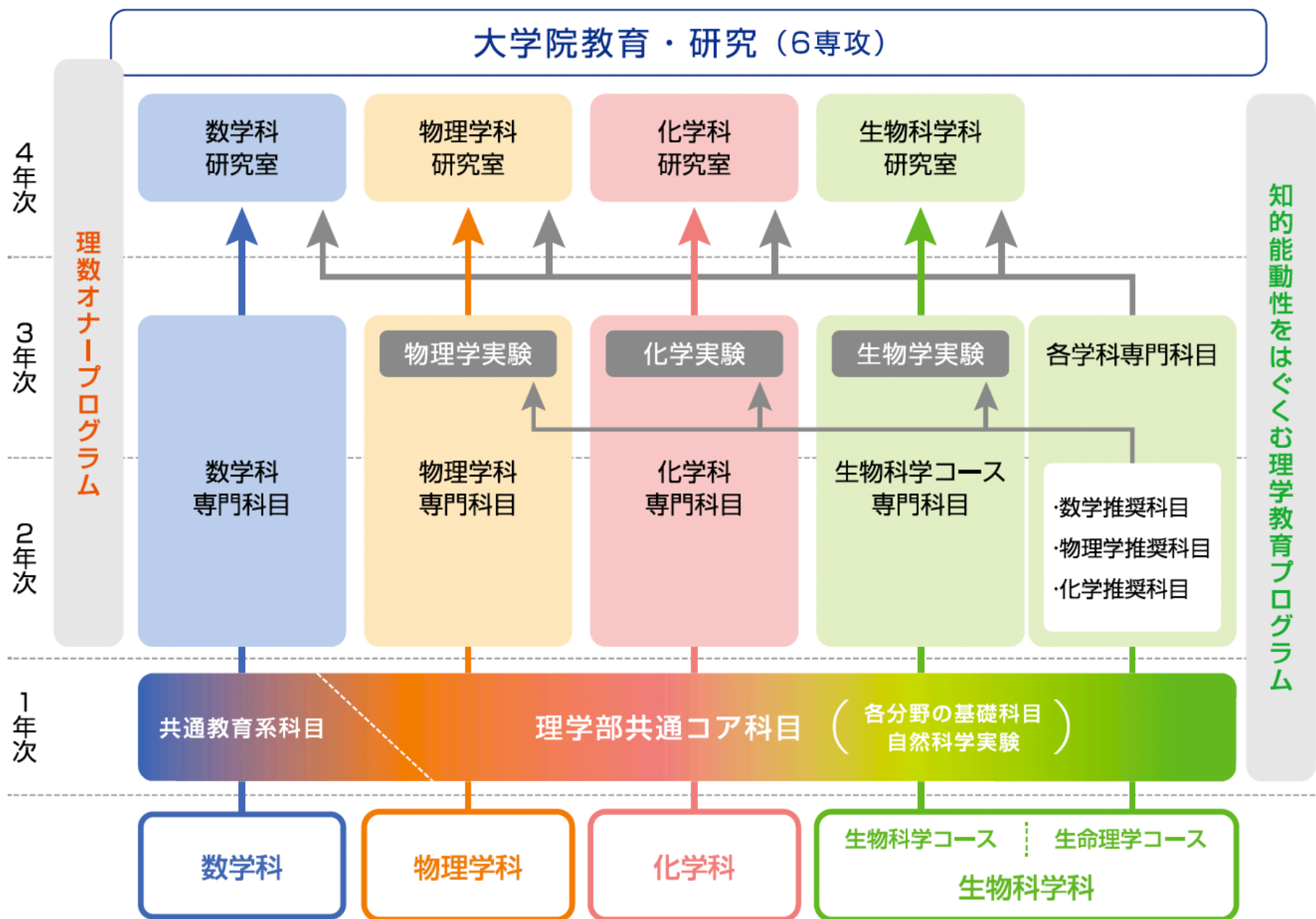
The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

阪大理学部のAO入試について

大阪大学理学研究科学部入試実施委員長
滝澤温彦



理学部の教育課程の概観

大阪大学理学部 平成28年度の入学試験

一般入試(前期日程)

- 一般枠 従来どおり行います
- 挑戦枠 深く緻密に考え続けるのが好きな人へ

研究奨励AO入試

- 科学を楽しみ, 実験を通して自ら考えようとする人へ

国際科学オリンピックAO入試

- 理・工・基礎工学部いずれの学科をも志望できます

国際科学オリンピックAO入試

出願資格

次の国際科学オリンピックに日本代表として出場した人

- ◆ 国際数学オリンピック
- ◆ 国際物理オリンピック
- ◆ 国際化学オリンピック
- ◆ 国際生物オリンピック
- ◆ 国際情報オリンピック
- ◆ 国際地学オリンピック



選抜日程

- － 出願書類受理期間 平成27年10月13日(火)～10月22日(木)
 - － 面接実施 平成27年11月8日(日)
 - － 合格者発表 平成27年12月9日(水)
-
- ・ 面接を実施, 学部・学科の見学も可能
 - ・ 理学部, 工学部, 基礎工学部のどの学科も志望できる
 - ・ 筆記試験・センター試験は免除, 推薦書も不要
 - ・ 初年度授業料免除(成績により2年目以降も継続)



OSAKA UNIVERSITY
School of Science, Graduate School of Science

研究奨励AO入試

出願資格

- － 高校で優れた科学自由研究を行い、次のいずれかに該当する人(過去3年間に限る)
 - ・ SSH生徒研究発表会(文科省, JST 主催)出場者
 - ・ 日本学生科学賞(読売新聞社主催)入選者および最終審査会進出者
 - ・ JSEC(朝日新聞社主催)最終審査会出場者

理学部物理学科の志願者は、以上に加え次に該当する者も対象とします。・日本物理学会 Jr.セッションで発表者となった者(予定の者を含む)・日本天文学会ジュニアセッションで発表者となった者(予定の者を含む)

理学部生物科学科生物科学コース及び生命理学コースの志願者は、以上に加え次に該当する者も対象とします。

・日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者となった者(予定の者を含む)

- － 平成28年度大学入試センター試験で、学科(コース)が指定する教科・科目を受験する人

選抜日程

- － 出願書類受理期間 平成27年12月1日(火)～12月3日(木)
- － 第1次選抜(書類選考)合格者発表 平成27年12月11日(金)
- － 第2次選抜(口頭試問)実施 平成27年12月25日(金)
- － 第2次選抜(口頭試問)合格者発表 平成28年1月8日(金)
- － 第3次選抜合格者発表 平成28年2月5日(金)

平成29年度から世界適塾AO入試(研究奨励型)に変更される。

一般入試(前期日程)

- 前期日程を「一般枠」と「挑戦枠」に区別して募集。後期日程は募集しません
(生物科学科生物科学コースでは「挑戦枠」を募集しません)
- 一般枠はこれまで通り、1日で終了(平成28年2月25日、26日)
- 挑戦枠は1日目+2日目(専門数学, 専門理科[物理], 専門理科[化学]のいずれか)を受験
- 挑戦枠で合否判定を先に行い, 挑戦枠で不合格でも一般枠で合格可
- 専門数学または専門理科の得点が150点に満たない場合, 挑戦枠では不合格

	1日目	2日目
一般枠	数学 250点 150分 理科 ^(2科) 250点 150分 外国語 200点 90分	無し <div>得意科目の配点大!</div>
挑戦枠	数学 250点 150分 理科 ^(2科) 250点 150分 外国語 200点 90分	数学科 専門数学 300点 180分 物理学科 専門理科[物理] 300点 180分 化学科 専門理科[化学] 300点 180分 生物科学科生命理学コース 専門理科[物理]・専門理科[化学] のいずれか



募集人員

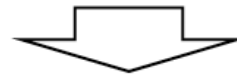
学科等		募集人数合計	前期日程		研究奨励AO 入試
			一般枠	挑戦枠	
数学科		47	40	5 以内	2
物理学科		76	58	14以内	4
化学科		77	60	13以内	4
生物科学科	生物科学 コース	25	20	0	5
	生命理学 コース	30	24	5 以内	1
学科合計		255	202	37以内	16

国際科学オリンピックAO入試は、各学科とも若干名

平成29年度から実施される一般入試の変更点について

○平成28年度入学者選抜まで（大学入試センター試験の配点）

	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	合計
大学入試 センター試験	150	50 (注1)		(注2)	(注2)	50 (注3)	250



○平成29年度入学者選抜から（大学入試センター試験の配点）

	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	合計
大学入試 センター試験	100	50 (注1)		50	50	50 (注3)	300

(注1) 大学入試センター試験で課す地理歴史及び公民から選択した1科目の配点です。

(注2) 大学入試センター試験で課す数学及び理科の成績は第1段階選抜のみに利用し、第2段階選抜の合格者判定には利用しません。

(注3) 大学入試センター試験の外国語において、英語（筆記200点満点、リスニング50点満点）を選択した場合は、次のとおり200点満点に圧縮してから上記の点に換算します。

筆記160点満点 リスニング40点満点 計200点満点

聴覚障害等によりリスニングを免除された者及び英語以外の外国語を選択した場合は、筆記の成績を圧縮せずにそのまま利用します。

平成 29 年度
大阪大学 世界適塾入試(概要)
(平成 27 年 3 月現在)

- 大阪大学「世界適塾入試」は、本学の学部で実施する、ＡＯ入試、推薦入試の総称です。
- 学部ごとに、推薦入試、ＡＯ入試のどちらか又は両方を実施します。
- 本学で教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、大学入試センター試験の受験を必須とします。(国際科学オリンピックＡＯ入試を除きます)
また、志願者の能力、意欲、適性を多面的・総合的に評価します。
- 志願者の基礎学力、能力、意欲、適性によっては、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- 志願者 1 人につき、「世界適塾入試」の世界適塾推薦入試、世界適塾ＡＯ入試、国際科学オリンピックＡＯ入試のいずれか 1 つのみ出願することができます。「世界適塾入試」の複数の入試に出願した場合は、全ての出願を無効とし受験を認めません。
- 「世界適塾入試」に合格し入学を予定する者に対して、必要に応じ、本学教員が入学までに取り組むべき課題等について指導します。
- 「世界適塾入試」の実施に伴い、一般入試後期日程は、平成 29 年度入試から全ての学部で募集を停止します。

3. 本学の入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）（学部）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等における学修を通して、確かな基礎学力及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

4. 「世界適塾入試」の基本方針

21世紀のグローバル社会において活躍する人材を輩出することを目的とした「世界適塾」となることを志す本学は、従来の価値観や能力にとらわれない多様な資質を有する学生を受け入れることが重要であると考え、一般入試とは異なる観点で「世界適塾入試」を全学で実施します。

「世界適塾入試」では、高等学校で主体的に学ぶ態度と能力を身に付けた将来のグローバルリーダーの卵である意欲的な人や、グローバル社会の下で活躍できる優秀な人材を、より多様に集積させることを目指します。具体的には、高等学校の成績、大学入試センター試験の結果、国際バカロレア資格、TOEFL、口頭試問（面接）等を各学部のアドミッション・ポリシーに基づき組み合わせる他、必要に応じ、高等学校での自由研究の活動、海外留学等の実績等を活用したり、志望理由書や志願者が所属する高等学校等の長が作成する志願者評価書を参考にしたりするなどして、多面的、総合的に合格者を判定します。

平成29年度から実施される世界適塾AO入試(理学部)について

学部名	理学部
入試方法	世界適塾AO入試（挑戦型）
出願資格	次のいずれかに該当する者とします 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成28年度中に修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成28年度中に修了又は修了見込みの者 4. 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを平成28年度中に修了又は修了見込みの者 5. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者
出願要件	次の全てに該当する者とします。 1. 高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など基礎科学分野の学問・研究に強い興味を持つ者 2. 理学部の志望する学科（コース）が定める平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 3. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
主な提出書類	次の1から5の書類を全員提出してください。 1. 志願理由書 2. 高等学校等で行った課外活動の実績（自由研究、海外留学、社会貢献活動、国際科学オリンピック国内予選や各種サマープログラム参加などについて志願者が作成） 3. 教員（理数系に限らない）の意見書（2通又は3通。志願者の長所や上記2の課外活動の内容について、本学所定の用紙に記載する） 4. 調査書 5. 上記2の課外活動の実績を証明できる書類

研究奨励型

出願要件	<p>次の全てに該当する者としてします</p> <ol style="list-style-type: none">1. 高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の優れた自由研究を行い、次のいずれかに該当する者（予定の者を含む）<ul style="list-style-type: none">・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構主催）で、平成26年度から平成28年度の間、出場者となった者・日本学生科学賞（読売新聞社等主催）で、平成26年度から平成28年度の間、入選した者および最終審査会進出者となった者（予定の者を含む）・ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、平成26年度から平成28年度の間、最終審査会出場者となった者（予定の者を含む）・日本学術会議協力学術研究団体主催の学会（*）での発表者（予定の者を含む）<p>（*）志望する学科で指定されている学会名等は次の通りである。</p><p>化学科：日本化学会（支部の会合を含む）</p><p>生物科学科：学会名は指定しない。</p>2. 理学部の志望する学科（コース）が定める平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者3. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
------	--

研究奨励型

選抜方法及び選抜基準	<p>1. 第1次選考は、提出書類により選考を行います。</p> <p>2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し、研究発表と口頭試問を課します。</p> <p>3. 第2次選考の最終合格者判定は、提出書類、大学入試センター試験の成績、第2次選考の研究発表と口頭試問の結果を総合して行います。</p> <p>なお、大学入試センター試験の配点は、次のとおりです。</p>					
	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語
	200	100		200	200	200

挑戦型

選抜方法及び選抜基準	<p>1. 第1次選考は、提出書類と大学入試センター試験の成績を総合して選考を行います。</p> <p>2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し、小論文と口頭試問を課し、希望学科への適性や基礎学力、思考力を問います。</p> <p>3. 第2次選考の最終合格者判定は、提出書類、大学入試センター試験の成績、第2次選考の小論文と口頭試問の結果を総合して決定します。</p> <p>4. 大学入試センター試験の配点は、次のとおりです。</p>					
	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語
	200	100		200	200	200

理学部	世界適塾A○入試 (研究奨励型)	11月上旬		12月上旬	12月下旬	2月上旬
	世界適塾A○入試 (挑戦型)	11月上旬		2月上旬	2月上旬	2月上旬

平成29年度の募集人数

一般入試

理学部		研究 奨励	挑 戦
数学科			5
物理学科			10
化学科		4	4
生物 科学科	生物科学コース	3	2
	生命理学コース	2	3

42

66

69

25

20